

2019.09



BACTERIOR O<sub>3</sub>

小型オゾン除菌・消臭器

BACTERIOR O<sub>3</sub>  
取扱説明書



お問い合わせ先

受付時間/10:00~17:00/土曜・日曜・祝日・夏季・年末年始休業日を除く

製造元

株式会社タムラテコ ☎ 0120-038-904

- このたびは小型オゾン除菌・消臭器バクテクターO3TM-11MFEをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。
- ⚠ 警告 電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
- 本製品は日本国内仕様であり、電源など、外国の規格には準拠しておりません。本製品を海外で使用された場合、本製品の保証・サポート対象外となります。



製造元 株式会社タムラテコ

# 安全上のご注意

特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

ここに示した事項は、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全の確保のために大切な事項ですので必ず守ってください。

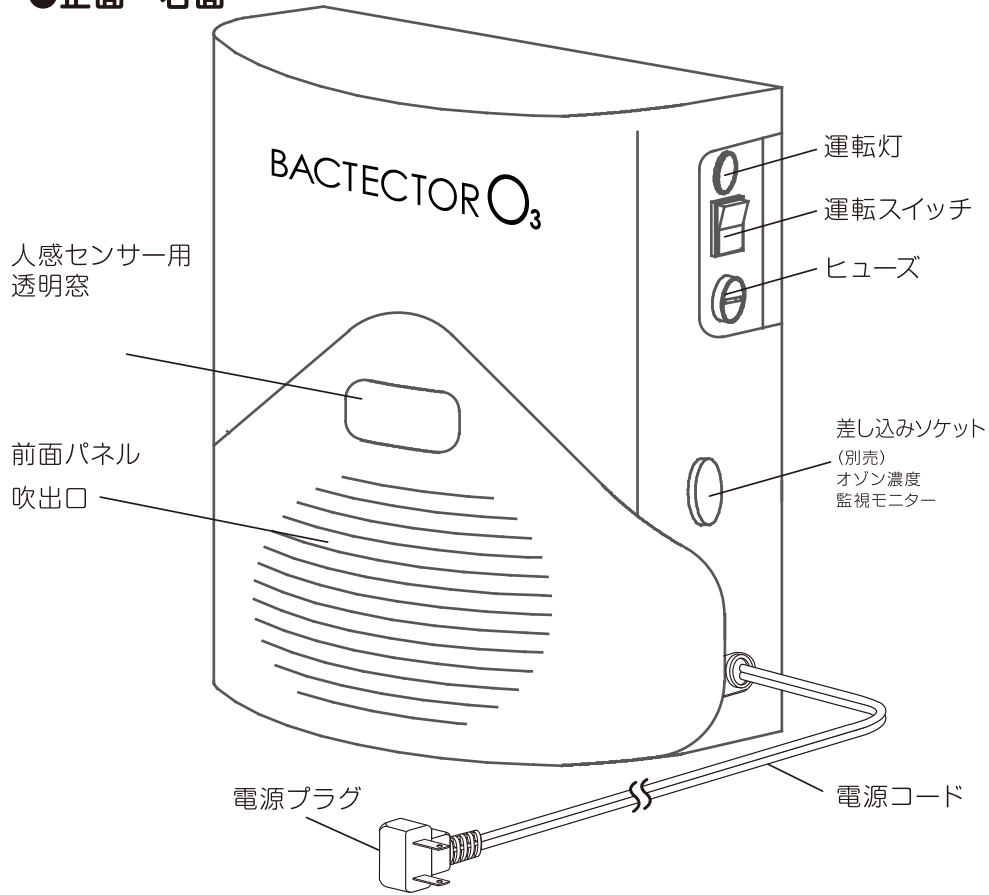
 <b>警告</b>	
<p>浴室や湿気の多い場所では使用しないでください。 火災・漏電・故障の原因になります。</p> 	<p>お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">電源プラグを抜く</p>
<p>本体に水をかけないでください。 故障や漏電の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>機器の分解・改造はしないでください。 火災・感電・故障の原因になります。</p> 
<p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。 たこ足配線などで定格を超えると発熱し、火災の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p>  <p style="text-align: center;">タコ足配線 交流100V以外は 禁止</p>	<p>濡れた手で機器の操作や電源プラグの抜き差しを行わないでください。 感電の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">濡れ手禁止</p> 
<p>定格の電源電圧100V以外使用しないでください。 火災・感電・故障の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>機器を落としたり倒したりしないでください。 故障の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p>
<p>直射日光が当たる窓際、暖房器具の近くなど高温になる場所では使用しないでください。 機器の変色・変形・故障の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>塩素系・酸性タイプの洗剤や可燃性ガスの入ったスプレーを近くで使用しないでください。 故障や火災の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p>
<p>電源プラグのほごりは定期的に取り除いてください。 ほごりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">!</p>  <p style="text-align: center;">差し込み部分</p>	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。 感電や発熱による火災の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">!</p>  <p style="text-align: center;">確実に差し込む</p>
<p>都市ガスやLPガス等のガス漏れが起こった場合、すぐに電源を切ってください。 火災の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">!</p>	<p>オゾン濃度があがると、まれにオゾン臭が不快に感じる場合があります。その場合は換気をしてください。</p>  <p style="text-align: center;">!</p>

-  **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定させる内容を示しています。

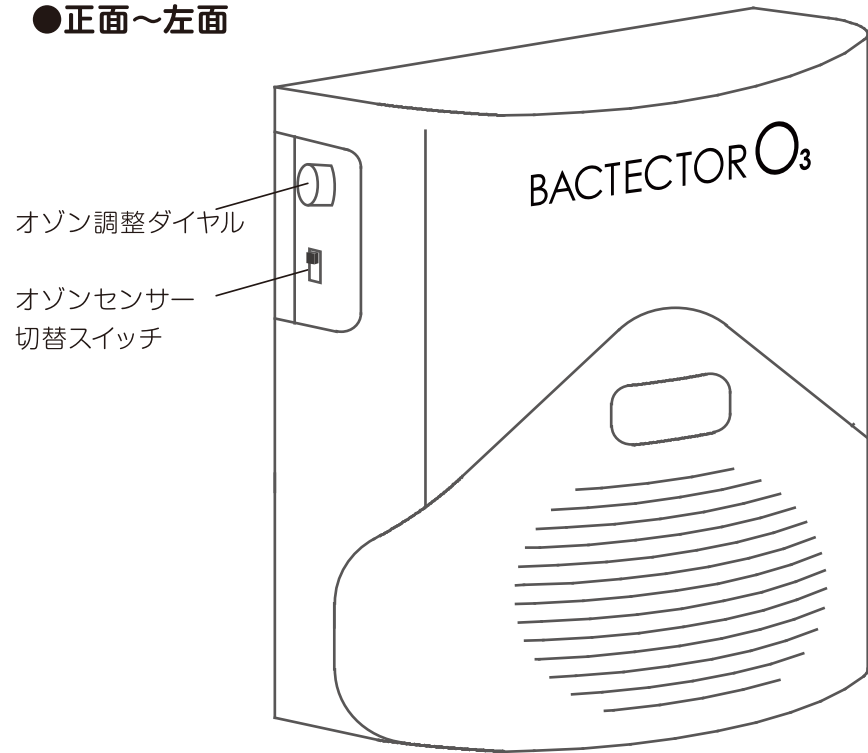
 <b>注意</b>	
<p>電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみ込む・傷つける・加工する。</li> <li>・熱器具に近づける・無理に曲げる。</li> <li>・ねじる・引っ張る・重たい物を載せる、コードをきつく束ねるなど。</li> </ul> <p>電源コードや電源プラグが痛んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p>	<p>機器をテレビやディスプレイの近くで使用すると画面に揺れやノイズが生じる場合があります。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p> <p>影響を受けた場合は、障害を与える機器から離してお使いください。</p>
<p>機器の上に物を載せないでください。 故障の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>機器に衝撃をあたえないでください。 故障の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p>
<p>吸気フィルターや吹出口をふさいだり異物を入れないでください。 布団をかぶせたりしないでください。正常に吸気・吹出できず、オゾン放出不良の原因となるだけではなく、火災・故障の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>吸気フィルター・吹出口はこまめに掃除してください。 ほごりがたまると、吸気・吹出の不良となり故障の原因となります。</p> 
<p>小さいお子様の手の届かない場所で使用してください。 けが・事故の原因になります。</p> 	<p>不安定な場所には設置しないでください。 機器が転倒し、故障の原因になります。</p> 
<p>運転したまま持ち運ばないでください。 機器の思わぬ落下や転倒の危険があります。</p> 	<p>機器のお手入れをする際は、シンナー・ベンジン・ガソリンなどは使用しないでください。 変形・変色・ひび割れの原因になります。</p> 

# 各部のなまえ

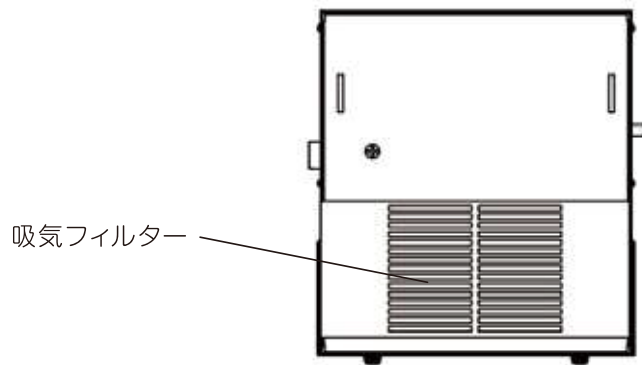
## ●正面～右面



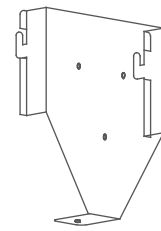
## ●正面～左面



## ●背面



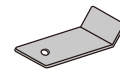
## 〈付属品〉



壁取付板 ……1枚



ねじ ……3本



オゾン発生体 ……1個  
取外金具

取扱説明書 ……1冊  
(本書)



お手入れ用ブラシ…1個

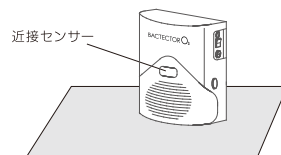
保証書 ……1枚

# 設置について

❗ 吹出口から出るオゾンガスが、直接人体・動植物にあたらぬ場所に設置してください。

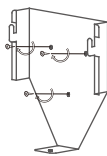
●机上等に置く場合  
オゾンガスの拡散を阻害する遮蔽物等のない場所で、水平に設置してください。

❗ 滑り落ちたりしない水平な面に置いてください。落下させると機器が故障する恐れがあります。



●壁等に取り付ける場合

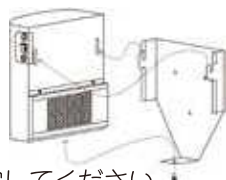
1. 付属の壁取付板を木ねじで壁に取り付けてください。(3ヶ所)



2. 本体下面のねじを外してください。(1ヶ所)



3. 壁取付板のツメ(2箇所)を本体の長穴に挿入し「2」で外したねじで下方より固定してください。



❗ 本体を支えるために十分な強度のある壁を選定してください。落とすと機器が故障する恐れがあります。

❗ 電源コンセントは、雨・飛び水等があたらず、足を引っ掛けたりしない位置である事を確認してください。歩行時に足を引っ掛けたりして危険です。

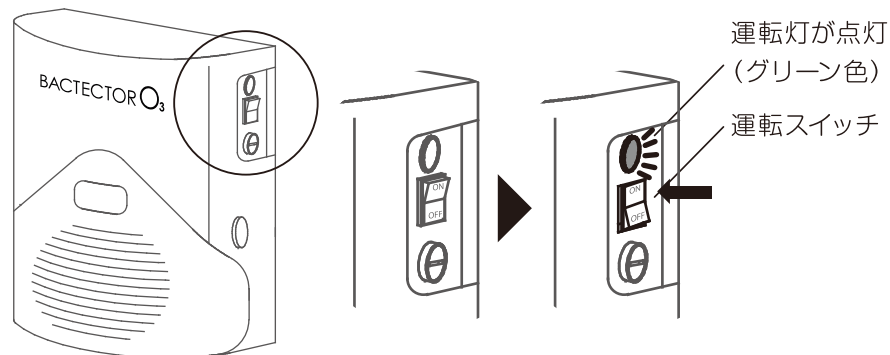
❗ 本機は単相100V専用です。異なった電圧で使用すると感電や機器故障の原因となります。

❗ 電源コードをステーブルや押しピンなどの壁固定金具で固定しないでください。コードが破損し、火災・感電の原因となります。

# 使い方

●運転開始

運転スイッチを「ON」にしてください。運転灯(グリーン色)が点灯し循環ファンが作動、発生体が放電し、オゾンを生成します。

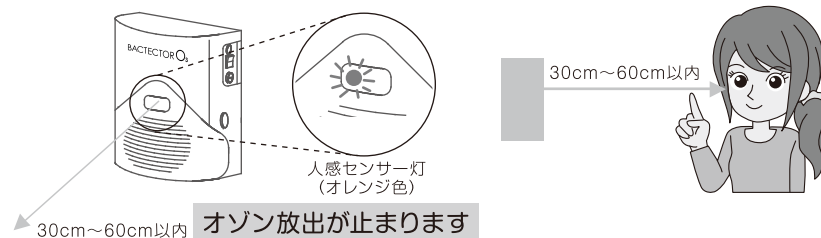


●運転停止

運転スイッチを「OFF」にしてください。運転灯が消灯し循環ファンが停止、発生体の放電が停止します。

●人感センサーの動作

本機前面を遮断(本機前面約30cm~60cm程度に人が立つ、物を置く等)すると、**人感センサー作動灯(オレンジ)**が点灯し、**ファンは作動したままオゾンの発生を停止します。**遮断が解消されると自動的にオゾン放出を再開します。



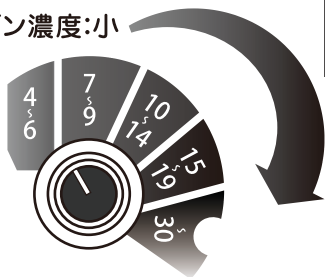
❗ 本機は高圧放電によりオゾンを生成しています。設置場所によりラジオ等に雑音が入る場合があります。雑音等が入らない所へ移動させてください。

❗ 吸気フィルターを壁面に密着させて使用しないでください。機器が故障します。

# 使い方

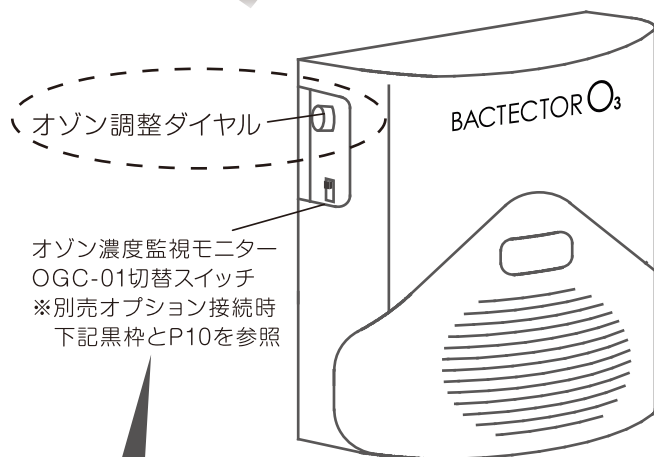
ご使用になる部屋の広さに応じてオゾン発生量の調整をしましょう。

風量:小  
発生オゾン濃度:小



右記のお部屋の広さの目安を参考にオゾン発生量を調整してください。

風量:大  
オゾン発生量:大



本機の出荷状態と別売りオプションの【オゾン濃度監視モニター】との連動について

商品出荷時のオゾン濃度監視モニタースイッチは「OFF」になっています。

オゾン濃度監視モニターを接続して使用する場合は、オゾンセンサー切替スイッチを「ON」にしてください。

別売のオゾン濃度監視モニターを使用しない場合は、本機左面のオゾンセンサー切替スイッチを「OFF」にしてください。

尚、詳細につきましては「オゾン濃度監視モニター取扱説明書」をご参照ください。

## ●風量の変更

本機は、オゾン調節ダイヤルで、オゾン発生量を調整するとともに、風量も自動的に変化します。オゾン発生量が大きい時は風量も多く、オゾン発生量が少なくなると風量も少なくなります。

## ●オゾン濃度の調整

本機は、オゾン調節ダイヤルによってオゾン濃度を無段階に調節できます。部屋の大きさによってオゾン濃度を調節してください。

## お部屋の広さとオゾン発生量調節ダイヤルの目安

ダイヤル表示	4～6畳	7～9畳	10～14畳	15～19畳	～30帖
オゾン調整ダイヤル位置	およそ11時の位置	およそ1時の位置	およそ2時の位置	およそ3時の位置	およそ4時の位置
オゾン発生量	約8mg/h	約16mg/h	約24mg/h	約32mg/h	約40mg/h
お部屋の広さの目安	4畳～6畳 トイレなど 小部屋	7畳～9畳	10畳～14畳	15畳～19畳	20畳～30畳 以内の 大きな部屋



## オゾンガスのおいが気になるときは？

オゾンは独特のおい(オゾン臭)があり、その時の環境(有機物量など)によって変化します。

また、個人によって感受性に差があります。オゾン臭が気になったり、不快と感じられる方は上記オゾン調整ダイヤルを左に回し、オゾン発生量を下げてください。

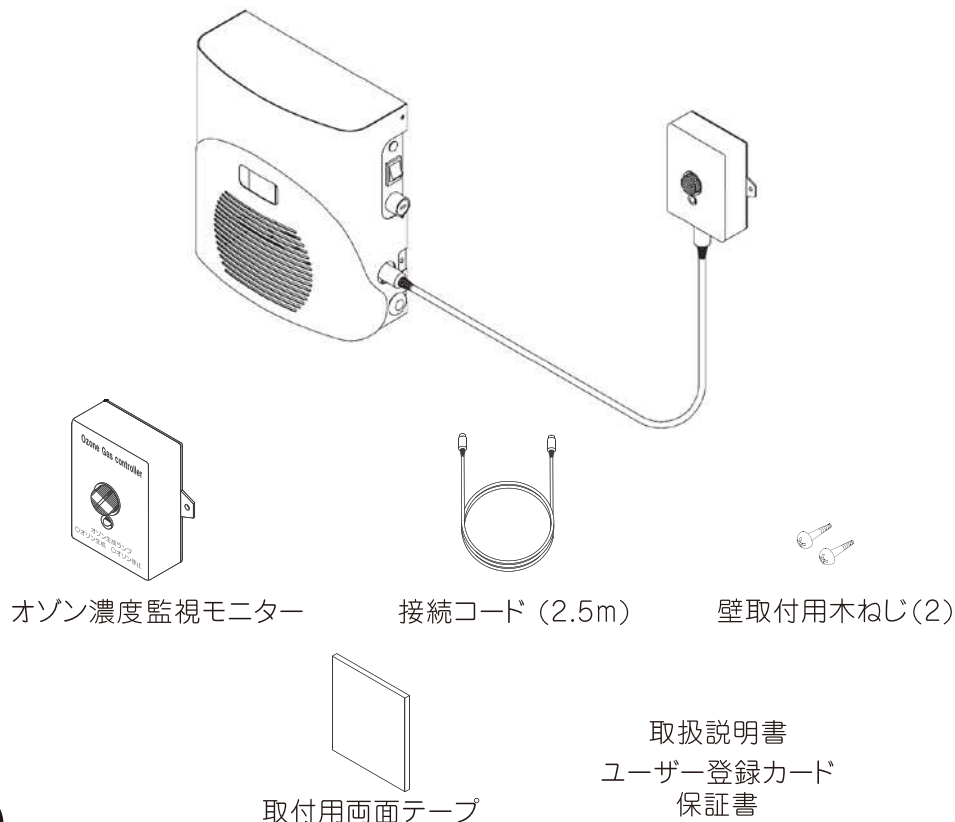
# オゾン濃度監視モニター OGC-01(※別売オプション)の接続

本製品は、バクテクターO3をもっと安全にご使用頂くための製品です。

オゾンは、一般家電製品とは異なり、強い除菌・脱臭・分解力を有し、また、酸素から出来ているため、役目を終れば酸素に戻り残留しません。

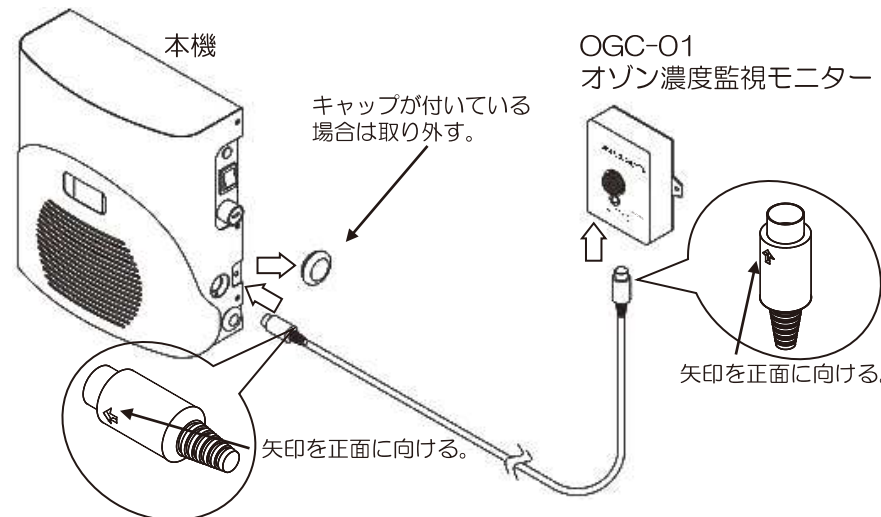
しかし、極度に狭い空間で使用する場合に濃度管理を行う場合があります。そこで、本機はオゾン発生量を強く(効果を強く)かつ安全にご使用して頂く為に、オゾン発生器を効率良く制御を行い、どのような場所でも24時間安心してバクテクターO3をご活用頂くよう開発された製品です。

OGC-01オゾン濃度監視モニターは、別売オプションです。  
ご購入は、販売店までお問い合わせください。

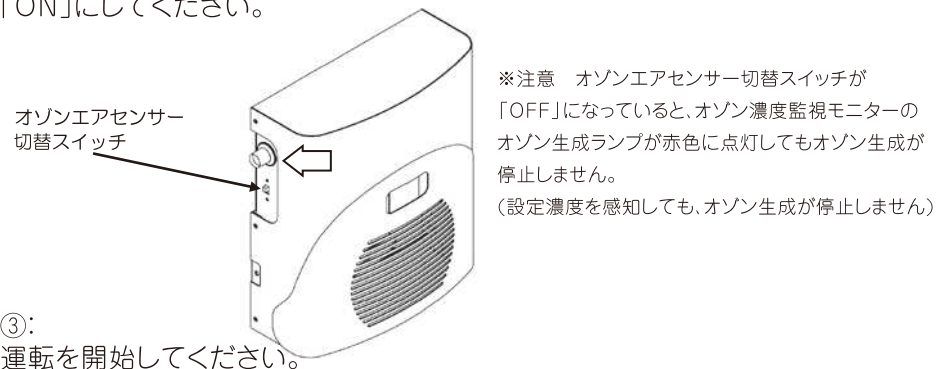


# 使い方

- ①: 付属のコードをオゾン濃度監視モニターとオゾンガス発生装置(本機)に接続します。  
※注意 コードの向きを間違えると接続できません。



- ②: オゾンガス発生装置TM-11MFEの左側面のオゾンエアセンサー切替スイッチを「ON」にしてください。

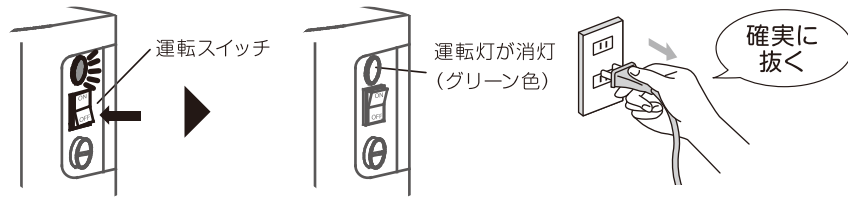


OGC-01が、オゾン濃度をリアルタイム計測し、  
上限値濃度0.1ppmになるとオゾン放出を停止します。

濃度監視センサーが下限値0.08pp以下になると、  
再びオゾン放出を開始します。

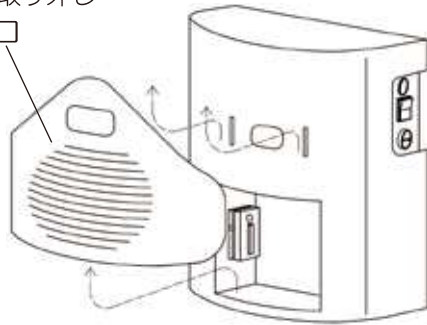
# お手入れ

運転スイッチをOFFにし、コンセントを確実に抜いてください




## ● 前面カバーの取り外し

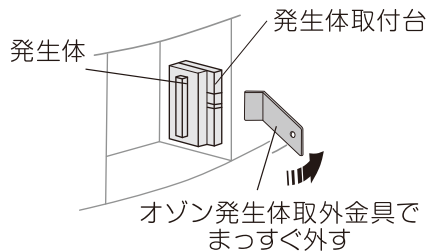
吹出口



吹出口を上を持ち上げてから前に引き抜いてください。

## ● 発生体の取り外し・取り付け方法

 洗浄の為、発生体の取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

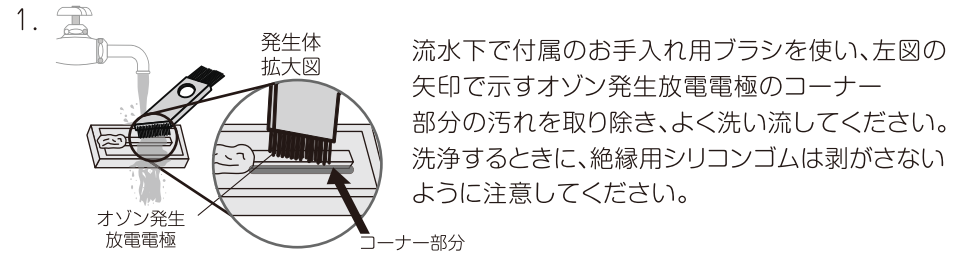


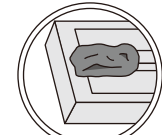
1. 発生体取付台と発生体の間に、発生体取外金具を差し込み、テコの要領で発生体を取り外してください。

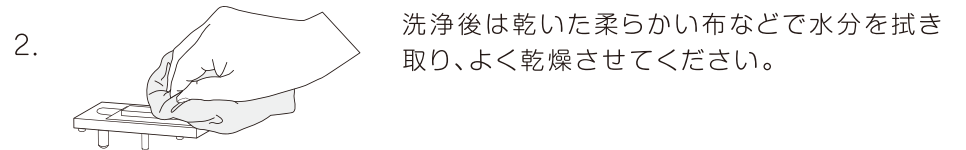
2. 発生体を次ページの「発生体の洗浄方法」・「発生体取付台の清掃」の順に従って洗浄してください。  
取り付ける場合、上部の電極部を押さないでください。割れる恐れがあります。


3. 吹出口を元通りに組み付けてください。

## ● 発生体の洗浄方法

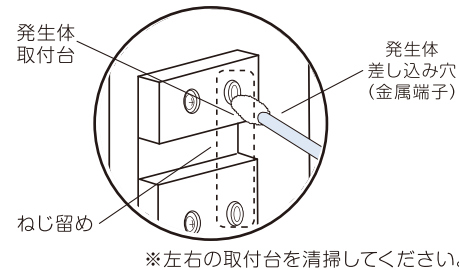


 ※絶縁用シリコンゴムや発生体は、くすみや色が沈着して黒ずみが出てきますが、これは使用に伴う材質の特性によるものです。洗浄で元の白色には戻りませんが、何ら問題はありませんので、安心してご使用ください。



 水で濡れたままの発生体を、発生体取付台に取り付けしないでください。漏電・故障・発煙することがあります。

## ● 発生体取付台の清掃




※左右の取付台を清掃してください。

柔らかい布にアルコールを含ませ、発生体取付台全体の汚れを拭き取ってください。  
続いて、綿棒で発生体差し込み穴(金属端子)を清掃してください。

## ● 吸気フィルターの洗浄方法

1. 背面にある吸気フィルターを本体より取り外してください。
2. 付着したほこり等を、流水下で洗い流すか、掃除機で吸い取ってください。洗った場合は、水分をよく拭き取って乾燥させてください。

 吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。故障の原因となります。

# 仕様・お手入れの目安

型式	TM-11MFE
定格電圧	AC100 V
定格周波数	50/60 Hz
定格消費電力	12W
オゾン発生方式	沿面放電方式
オゾン発生量	8~40mg/h (無段階可変)
処理風量	16.7~26.1m <sup>3</sup> /h (発生量可変に同期)
ヒューズ	1A (F5, 2×20mm)
人感センサー	感知 距離約30~60cm
質量	1400g
外形寸法	(W) 180mm× (D) 76.8mm× (H) 200mm (突起部は除く)

## ●お手入れの目安表

下表に従って点検・お手入れを行ってください。



- 点検・お手入れを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 点検・お手入れの時期は、設置環境によって大きく変わる場合があります。

点検箇所	頻度	点検・お手入れ方法	参照項
発生体	約1ヶ月	発生体は、「発生体の洗浄」の項を参考に洗浄し、よく乾燥させください。 (洗浄後正常に放電するまでに10分~20分かかります。)	13ページ
発生体取付台	約1ヶ月	綿棒・柔らかい布にアルコールを含ませて清掃してください。	13ページ
送風ファン	こまめに	付着したほこりなどの汚れを、乾拭きするか、柔らかい布に中性洗剤を少し入れた水を含ませ硬く絞ってから拭いてください。	——
吸気フィルター	こまめに	吸気フィルター、前面パネルを本体から取り外し、付着したほこりなどの汚れを掃除機又は、水洗いで除去してください。	——
前面パネル 近接センサー		近接センサーに付着したほこりなどは綿棒や柔らかい布などで除去してください。	
外部の汚れ	こまめに	付着したほこりなどの汚れを、柔らかい布に中性洗剤を少し入れた水を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。	——

# 故障かな?と思ったら

故障や異常を感じた時はご使用をやめて、下記より原因を調べて処置をしてください。  
原因が不明な時や、処置が難しい時は、販売店または、下記のお問い合わせ先にご相談ください。

## Q1 運転スイッチを押しても機器が運転しない。 運転灯が点灯しない。

電源プラグがコンセントから抜けていませんか?

➡ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

## Q2 運転中の音大きい、送風ファンの音が大きくなってきた。

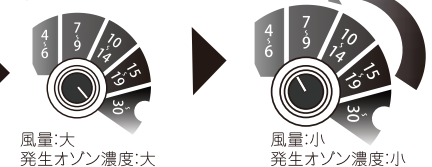
ほこりが送風ファンに付着していませんか?

➡ 左記のお手入れ方法を参照の上、送風ファンなど各部のお手入れを行ってください。

## Q3 オゾン臭が気になる

その日の体調や体質などによってオゾン臭が気になる場合があります。また、長期不在などで部屋の有機物量によってにおいがする場合があります。

調節ダイヤルを回し、オゾン発生量を少なくしてみましょう。



## Q4 オゾン臭がしなくなった。

吹出口がほこりなどで詰まっていますか?

➡ 左記のお手入れ方法一覧を参照の上、吹出口など各部のお手入れを行ってください。

人感センサーが作動するような場合  
前面に障害物が置かれていませんか?

➡ 近接センサー前の約30cm~60cm以内に障害物があると、人感センサーが働いてオゾン放出を止めます。障害物を取り除くか、機器の設置位置を変更してください。

発生体の汚れや、発生体取付台が汚れていませんか?

➡ 左記のお手入れ方法を参照の上、発生体の洗浄や、発生体取付台を清掃してください。

吸気フィルターがほこりなどで目詰まりしていませんか?

➡ 左記のお手入れ方法を参照の上、吸気フィルターを清掃してください。